

<p>二つの大原則 ①経済的土台が社会形態を規定する。②生産力の発展(増大)が、生産関係→生産様式→生産関係へと変化をもたらす。古い社会形態との矛盾を原動力として、歴史は変化、発展する。</p>	<p>「歴史とは何か?」「歴史はなぜ変化するのか?」</p>	<p>●下部構造の変化は、究極的(最終的)に、上部構造の「男女関係」「婚姻関係」に、最も本能的に反映される。</p> <p>●「人は女に生まれるのではない」「女」になるのだ!「第二の性」(ボヴォワール)→歴史的・社会的・文化的構築物としての「女」(ジェンダー)</p> <p>●通い婚(古くは平安時代)→恋愛はおおからか、恋愛と結婚の区別も明確でない。男女関係は対等。</p> <p>●嫁入り婚(鎌倉～室町時代)→家父長制の成立により女性の地位は低下。妻は夫の所有物と思なされた。政略結婚。</p> <p>●三従の教え(江戸時代)→家父長制のもとで、女性は夫に従い、結婚してからは夫に従う。低い地位におかれた。女三罪に落ちた。女性結婚によって無能力者とされ、夫の同意がなければ、大きな買い物も借金もできなかった。女性は自分の意思で結婚や離婚を決めることができなかった。</p> <p>●現代日本の「結婚制度」のもとの「夫、妻の双権化政策」</p> <p>政府は、専業主婦の経済的自立を妨げないために、年収108万、130万、150万円の壁を作り、夫への依存度を高める双権化政策を堅持している。</p> <p>一方、夫は、就業労働制で無制限のサービス残業を強いられ、75歳まで企業の取締役として権取れようとしている。</p> <p>年金制度が崩壊確実の中で、老後に不安を抱える「企業戦士夫婦」がい。一方で、大企業は「内部留保」している。</p> <p>●国民を貧窮化(＝双権化)させるもの、この手</p> <p>①(国)の教育ローンで大学卒業時に貸付に借金漬けにする。②非正規労働者比率40%(運転は50%以上)?で教育ローンが返済できなくなり繰上。③住宅を買ったら、35年住宅ローンで借金地獄。</p> <p>●通訳案内士試験に合格しても、悪質派遣会社に行く、90%以上ピンハネされ、旅行会社と派遣会社の良い物にされるのでご注意ください。</p> <p>●すべての社会形態(上部構造)は階級性(階級イデオロギー)を持つ</p> <p>●スポーツにおける階級性(ポールの4人が黒人。一方、チームのオーナー、コーチ、トレーナーの90%以上は白人)→サッカー(多数のスラム街出身の有名選手:ペレ)→アマフト(黒人がNFL選手の70%)→野球(黒人がMLB選手の60%)→バスケットボール(NBA選手の40%が黒人。一方、チームのオーナー、コーチ、トレーナーの90%以上は白人)→ゴルフ(黒人がNFL選手の70%)→野球(黒人がMLB選手の60%)→ゴルフ(安芸首相とトランプ大統領。全米プロゴルフ協会が、「白人のプロゴルファーであること」という人種規定を廃止したのは1961年である。タイガー・ウッズは、かつて、黒人であるという理由で、あるゴルフ場でプレイすることを断られていた。)</p> <p>●アメリカのプロ野球の普及は、ルーズベルト大統領の囁きの一環による。(1942年)フランクリン・ルーズベルト大統領「野球を続けるのが最善である」として、政治のことは忘れよう」</p> <p>●日本のプロ野球の普及は、GHQのサッカー・サーの「3S政策」の結果である。戦後、GHQのマンローサーは、激しい占領政策のもとで、日本の民衆が怒っている社会生活上の様々な不安や、政治への関心を逸らせて、大衆を自由に思うがままに操作する目的で「3S政策」という「愚民政策」を強力に押し進めた。「3S政策」とは、Screen(スクリーン＝映画鑑賞)、Sport(スポーツ＝プロレス、ボクシング、セックス、セックス産業)のような大衆の欲望刺激による娯楽を「政治的」に対する不満、不安のガス抜きに使う「愚民政策」であり、スポーツでは、プロ野球が利用されたということである。なお、マンローサーは、無類の野球好きでも知られる。韓国も、アメリカの社会心理学者のアドバイスを受けて、「3S政策」を実施している。古代ローマ帝国では、市民に娯楽を与えるために、帝国の支配地には必ず円形闘技場(コロッセオ)を造り、剣闘士(奴隷)たちの死闘を見物にした。累計約80万人の剣闘士が円形闘技場で死んだ(殺された)。</p> <p>●現代日本の愚民政策</p> <p>①学校教育、差別と選別の入学試験を核にした、企業に得難い双録を養成する教育システム、②テレビ、マスコミ、NHKによる有権者に有利な偏向報道。ハラエナイ、スポーツ番組による一億総愚民化の推進。③キャンブル(競馬、競輪、パチンコ、マージャン)。④タバコ、アルコール依存症。「立てばパンチ、座ればマージャン」</p> <p>●大入、下戸(群馬台国)(4世紀)→氏族制度(大臣、大連、部曲、名代、子代)(5世紀～6世紀)→一冠位(2階)603→公地公民(646)「大化の改新の詔」初めて、戸籍、計帳、班田収没の法を造れ。→庚午年籍(最初の戸籍)(670)→八色の姓(684)(中央集権の官制)→大正法律令(701)(律、刑、法、令;行政組織、官吏の勤務規定、人民の租税・労役などの規定)(中央:神祇官、太政官)(地方:藩内七道、国(国司)、郡(郡司)、里(里長))→(摂津職、大宰府)(職位の制)(刑罰の強化)(戸による支配:戸籍、計帳、班田収没法)→相・解・調・運・出・券→一領一貫制(1293)→建武式目(1336)→五家人制(1361)→一考勅令(1365)→公事方格御定書(1742)→軍国論打札令(1825)→憲社の誓(1839)→安政の大獄(1858～1859)→大政奉還(1867)→武家諸法度・公家諸法度(1869)→五箇条の御誓文(1868)→版籍奉還(1869)→壬申戸籍(1872)→内務省令(1874)→東官に警備令(1874)→集金条例(1880)→軍人勲諭(1882)→保存各例(1887)→大政奉還(1867)→一府県制、群制(1869)→一貫制(1869)→一貫制(1869)→治安警察法(1900)→治安警察法(1900)→治安維持法・普通選挙法(1925)→国家総動員法(1938)→国民徴用令(1939)→大政翼賛会(1940)→真珠湾攻撃(1941)→学徒出陣(1943)→ポツダム宣言受諾(1945)</p> <p>①主権(他国の干渉を許さない法律、掟)と暴力装置、②領土(なわばり)③国民(組員)「暴力装置」は社会学、政治学の用語だが、国家権力がによって組織化され、制度化された軍隊や警察の実力組織のこと。広域暴力団の場合、は、「武闘派」が主導して「極道戦争」を展開する。国と広域暴力団の「戦争」、抗争」は、しばしば、「泥沼化」(ベトナム戦争)、(イラク戦争)、「仁義なき戦い」に発展する。</p>	<p>生産力は、歴史の発展とともに増大し、各時代の支配者階級が、莫大な富を独占してきた。現在、世界のトップ62人の大富豪が、全人類の下半分、すなわち36億人と同額の資産(約180兆円)を持っている。</p> <p>生産関係とは、生産における人間と人間との関係のこと。誰の命令で、誰が生産(労働)するのか。各時代の支配者階級が、国民に生産(労働)させる。</p> <p>異歌呼(群馬台国)→豪族(弥生、古墳)→ヤマト政権の支配者→天皇(貴族、有力者)→攝政・関白→将軍(武士)→産業革命→産業資本→金融資本→産業資本と銀行資本の融合)→(グローバル化)→グローバル資本(GAFA)</p> <p>●世界史: (打製石器→磨製石器→青銅器→鉄器(鉄は国家なり))→(鉄と石炭による産業革命:18世紀イギリス)→(O.L.SI(大規模集積回路)によるデジタル情報通信革命)→インターネット→IoT→ビッグデータ→AI(人工知能)</p> <p>●日本史: (打製石器→磨製石器→青銅器→鉄器(ヤマト政権の基礎))→(鉄と石炭による明治の産業革命)→(O.L.SI(大規模集積回路)によるデジタル情報通信革命)→インターネット→IoT→ビッグデータ→AI(人工知能)</p> <p>●第一次産業革命(綿工業)(1700年代後半から1800年代前半、イギリス)→第二次産業革命(重工業)(1800年代後半から1900年代前半、アメリカ)→第三次産業革命(コンピュータによるデジタル革命)(1900年代後半から、アメリカの軍事技術が民間産業へ転移されたこと)→第四次産業革命(インターネット)(4.0)(IoT)によって人と設備が協調して動くこと、VRによるオペレーションシステムの改革、ビッグデータやクラウドを活用した管理、消費者的ひびりとりのニーズに答えるマスカスタマイゼーション)</p>
<p>社会を構成するもの(社会構成体)</p>	<p>社会形態(上部構造)</p>	<p>支配者階級の階級イデオロギー</p>	<p>経済的土台(下部構造)</p>
<p>生産様式</p>	<p>生産関係</p>	<p>生産力×生産手段×労働力</p>	<p>生産手段×労働力</p>
<p>生産手段</p>	<p>生産手段(道具)の所有者</p>	<p>国(＝広域暴力団)の3大構成要素</p>	<p>人は生きていくためには、道具で生産しなければならない。人は何を道具にして生産するのか。</p>